

小田原市議会を考える市民の会



私達が、何故「議会」に拘るのか・・・

平成 24 年は、当会が議会に提出した 2 件の陳情 が日の目を見た年になりました。市民グループ結成以来、取り組んで来た事への結果に会員一同、感激した次第です。ところで皆さんは、小田原市議会の存在を、どの様に感じておられますか？このHPを検索されておられますので多分「議会」に関心をお持ちの方と推察いたします。当会は「議会」は市民にとって、非常に重要な存在である！と考えています。

★「議会」で決定した議案や予算は、市民はもちろん、市長と言えども簡単に覆すことは出来ません。

[例] 名古屋市議会「住民税の恒久減税」を巡り、「議会」と市長が対立 ⇒ 異例の住民投票へ

★◎また「議会」が良い決定、審査をしないと、市長は市政の運営に失敗します。

[例] 夕張市の破綻？ そんな訳で、小田原市議会が「市民に信頼される議会・開かれた議会であって欲しい」と願っています。

それには ⇒ 「議会運営が大事！」

議会運営については「議会改革を進めるにあたっての議長の基本的考え方」(平成23年6月20日)にも謳われているように「市民に開かれた、より透明性の高い運営」が基本にあるものと考えます。

では、どの様に運営したら「透明性の高い運営」「信頼される議会」が構築されるのでしょうか？ それを考えるのが「議会基本条例」の制定だと理解しています。「議会基本条例」と聞くと難しそうですが「議会運営の原則を定めたもの」と考えれば、私たちの智慧も働きそうです。

昨年、市議会が市民に対して行なった「議会に関するアンケート」では「議会基本条例という言葉を知っていますか？」との問いに「知らない」が回答者の79%を占めていますが、「市議会に関心がありますか？」との問いには68%が「ある、少しある」と答えています。

このアンケートには、議会・議員への信頼度に関する質問はありませんでしたが、「本会議等で審議された議案に対する、各議員の賛否を公表することは必要だと思いますか？」との問いに56%が必要、と回答。市民の眼には議会の動きが良く見えない、ので「知りたい」と願っている方が多く 存在する事例と感じます。こうしたことから議会改革を望む市民は多いと考えます。(昨年、当会のこの件に 関する陳情が採択されたのもアンケート結果を市民意見として、議会が真摯に受けとめて頂いた結果と感じています)

当会は議会の動きを、市民目線で捉えていくことをベースに不偏不党で活動していますが、必要ならば議員さんの耳が痛いことでも正々堂々と主張して行きたいと考えています。このような背景から、今年の活動の主眼は、より良い「議会基本条例」制定に向って活動して行きたいと 思います。開かれた議会、身近に感じられる議会とは、どの様な議会なのか… 市民側から皆さんと 考えて行きたいと思っています。定例会に、是非！ ご参加下さい。(会員以外の参加 歓迎！)

【今後の具体的な活動】

- 定例会 (毎月第2木曜日 いそしぎ)

先進事例の勉強会(日本で最初に制定された栗山町の議会基本条例を読み解く)

- 議会・委員会(議会改革推進委員会・広報委員会 等)の傍聴、広報 HP です。
- 「議会基本条例」制定に関する講演会の開催 (計画中)